

令和3(2021)年度
NPO法人 横浜金沢カヌークラブ
カヌーだより No.26

7月以来、新型コロナウイルス非常事態宣言が発せられ、練習会の中止が続きます。練習会は毎回、今までより多く参加があり、毎回30名以上。カヌーに対する熱い思いが感じられます。

7月は主に基礎練習や救助法を練習してきました。毎回天候にも恵まれ、海と格闘そしてずぶ濡れ。多くの方がセルフレスキューを習得できました。9月からは皆さんと安全にツアーを楽しめると思いましたが、当分お預けのようです。

これから冬に向かいます。冷たい海にむけ、服装のご用意をお願いします。不明なことは指導部リーダーにご相談ください。

練習会で使用しているクラブ所有のシーカヤックは老朽化している艇が多く、苦勞して乗って頂いています。財源の乏しいクラブですが、少しずつ更新をしていきたいと計画しております。皆様の積立金のお陰で今年は体の小さい人向けのシーカヤックを4艇（新艇！！）購入します。ご期待ください。

・第4回金沢八景シーカヤックレース中止

9月26日に開催予定の「第4回金沢八景シーカヤックレース」は緊急事態宣言により中止となりました。皆様には大会役員やモーターボートの運転など、色々と協力をお願いしました。ありがとうございました。来年度は是非大会を実施したいと思えます。よろしくお願ひいたします。なお今回の大会にはSUPの愛好団体「横浜SUP倶楽部」の賛同をいただきまして金沢のマリンスポーツ大会として最初の一步との期待がありましたが、今後につなげたいです。

・八景島西浜上陸

八景島の海の公園側に西浜という砂浜があります。昔は上陸ができましたが、今は砂浜が荒れてしまい、上陸禁止になっています。ここに安全に上陸できるように春にはクラブ員の協力で砂浜の整備をしました。（写真参照）その後、

横浜市港湾局と話し合いで上陸時の安全性などの確認のため、実証実験をすることになりました。結果が良ければ来年度からは自由に上陸が可能となり、八景島での休息ができるようになります。さらに、この砂浜でのカヌー体験教室など、いろいろな行事ができるのではと想定されます。ゆくゆくはマリンスポーツの広場ができるのではないかと夢を見ています。また横浜市は八景島の賑わい創出に取り組んでいます。是非この活動にも協力して、八景島のもう一つの顔を作り出せたら楽しいなと思います。

・活動拠点の移動

当面の課題は新しい活動拠点を探すことです。現在横浜市港湾局と野島公園を管轄している横浜市環境創造局と交渉をしています。公用地を我々のようなクラブに供用することは非常にハードルが高いようです。クラブが行ってきたカヌー体験指導や、金沢海域の安全航行ルールの作成や関係団体への周知活動など、公共性をアピールしています。現在、候補は八景島マリーナ・西浜周辺、野島公園のキャンプ場内給水槽付近が上がっております。なんとか年度内には決定をしたいと、交渉をしておりますのでもう少し現状での活動をお願いいたします。

・2020 東京オリンピック パラリンピック終了

いろいろ課題がありましたが、オリンピック、パラリンピックが閉幕しました。カヌーはあまり成績が芳しくなく、放映もあまりされませんでした。スラロム競技とスプリント競技が行なわれましたが、注目される成績はスラロム競技の羽根田選手、10位でした。スプリント競技はオーストラリア、ニュージーランド、ヨーロッパ諸国が強く、非常に人気のスポーツのようです。話ではオーストラリアの選手は、強化のためにもっぱらシーカヤックに乗っているそうです。うちのクラブからもオリンピック選手が期待できます。

パラリンピックではスプリント競技女子カヤックシングル 200 mで瀬立選手が決勝へ進み7位になりました。また新種目としてバーシングルのレースが始めて行なわれました。(写真参照)

当分練習会はありませんが、是非クラブ員の皆様には健康に留意して、楽しく再会できることを期待しています。

尾喜 記



八景島西浜の整備作業
横浜市港湾局の職員も参加



アウトリガーと呼ばれる浮き具が付いた艇を使用する
パラリンピックカヌー競技 新種目
バーシングル